

## 金融経済概況

### I. 全体感

道北地域<sup>\*</sup>の景気は、観光や個人消費を中心に東日本大震災の影響による下押し圧力が続いているが、下げ止まりの動きもみられる。

すなわち、最終需要面の動きをみると、設備投資が低水準ながらも増加しているほか、住宅投資は緩やかに持ち直している。また、個人消費は震災後、耐久消費財を中心に弱い動きとなっているが、一部で下げ止まりの動きもみられる。公共投資は減少している。

こうした中で、生産は震災に伴う復旧需要や肩代わり需要から一部で増産の動きが続いている。雇用環境は、改善の動きがみられており、厳しさの程度は幾分和らいでいる。

金融面では、預金が引続き前年を上回った一方、貸出は前年を下回った。貸出約定平均金利は低水準で推移した。

### II. 実体経済

#### 1. 最終需要項目別動向

(1) **個人消費：震災後、耐久消費財を中心に弱い動きとなっているが、一部で下げ止まりの動きもみられる。**

2011年5月の百貨店・スーパー等主要大型店の売上高は、天候不順（断続的な降雨や低温）が響き衣料品等季節商品が不振であったことから、前年を下回った（前年比<同旭川地域>：△4.1%<△3.1%>、2011/1～3月△3.4%<△3.4%>）。この間、震災の影響は一部（おみやげ用菓子類等）でみられているものの、全体では薄まっている。

5月の新車登録台数（含む軽乗用車）は、震災の影響による納車の遅れから引続き大幅に減少した（前年比：△41.6%、2011/1～3月△23.0%）。ただし、減少幅は4月（△61.4%）に比較して縮小した。

<sup>\*</sup> 道北地域とは、上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内。

5月の空港（旭川、稚内、女満別、紋別）利用客数は、引続き大幅に減少した（前年比：5月 $\Delta 23.1\%$ <旭川空港 $\Delta 25.4\%$ >）。減少幅は震災以降、緩やかに縮小している（3月 $\Delta 28.2\%$ →4月 $\Delta 24.9\%$ →5月 $\Delta 23.1\%$ ）。

旭山動物園入園者数は、4月に一旦減少幅を縮小した（前年比： $\Delta 3.0\%$ ）後、5月は再び大幅に減少した（前年比： $\Delta 23.5\%$ ）。6月も減少傾向が続いている。

5月のホテル・旅館の宿泊客数は、海外・道外観光客が大幅に減少する中、連休中は比較的堅調であった道内観光客が連休後は減少し、全体でも減少した。なお、旭川空港における「国際チャーター便運航予定」（旭川空港調べ）をみると、便数は徐々に増加するものの、昨年対比では大幅な減少が続く見通しである（5月1便<前年同月実績9便>→6月6便<同13便>→7月7便<同68便>）。

5月の貨物輸送量は、食料品や木材の減少を主因に前年を下回った（前年比： $\Delta 2.5\%$ 、2011/1～3月 $\Delta 5.8\%$ ）。

5月の電力消費量は、産業用、民生用ともに減少し、全体でも前年を下回った（前年比： $\Delta 4.2\%$ 、2011/1～3月 $+0.3\%$ ）。

## (2) **公共投資：減少している。**

5月の公共工事請負金額（上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内）は、一部大型工事の請負がみられたことから前年を大幅に上回った（前年比： $+63.1\%$ 、2011/1～3月 $+35.6\%$ ）。ただし、公共事業費抑制が続く中、公共投資は基調としては減少が続いている。

## (3) **設備投資：低水準ながらも増加している。**

道北地域の「企業短期経済観測調査」（2011年6月調査）における2010年度の設備投資額は、前回調査比若干の下方修正（ $\Delta 1.6\%$ ）となり、 $+9.3\%$ の増加となった。2011年度上期の設備投資計画は木材・木製品、建設の増加から前回調査比上方修正（ $+7.0\%$ ）となり、現段階では前年同期比 $\Delta 0.2\%$ を見込んでいる。

5月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の非居住用建築確認申請（床面

積)をみると、旭川市で前年を若干下回ったものの、その他の市で前年を上回ったことから、全体でも前年を上回った（前年比：+36.4%＜旭川市△0.8%＞、2011/1～3月+36.8%＜同△10.9%＞）。

#### (4) **住宅投資：緩やかに持ち直している。**

5月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の居住用建築確認申請（床面積）をみると、網走・稚内市で前年を下回ったものの、旭川・北見市で前年を上回り、全体でも6か月連続して前年を上回った（前年比：+9.7%＜旭川市+25.1%＞、2011/1～3月+10.0%＜同△0.1%＞）。

## 2. 業種別動向

### (第一次産業)

農作物の生育状況（6月15日現在）をみると、馬鈴しょ、たまねぎ、豆類、牧草の生育がは種作業の遅れから遅れているが、気温の上昇もあって回復傾向にある。水稻は移植作業が平年よりやや遅れて終了したが、生育については平年並みとなっている。

5月のオホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）をみると、すけそうの増加を主因に数量は前年を上回ったが、すけそうの単価下落や金額の大きいほたての減少等から、金額は前年を下回った（数量前年比：+21.8%、金額前年比：△10.2%、2011/1～3月数量前年比：△51.0%、金額前年比：△20.5%）。

5月の生乳出荷量は、前年を若干下回った（前年比：△1.5%、2011/1～3月△0.2%）。

### (製造業)

5月の製材出荷量（速報値）は、広葉樹が減少したものの、針葉樹が道内・道外ともに増加したことから、前年を上回った（前年比：+7.5%、2011/1～3月+2.4%）。

普通合板の出荷量は、被災地における仮設住宅向け需要や東北に立地する同業他社の工場被災に伴う代替需要に対応した増産の動きが続いており、引続き前年を上回った（2011/4月前年比：+8.9%、2011/1～3月+14.5%）。

紙・パルプの出荷量は、東北に立地する工場被災に伴う一部製品の増産が続いており、引続き前年を大幅に上回った。

電子部品関連は、需要構造の変化に伴う需要減少等から減産の動きがみられている。

### 3. 雇用・倒産動向

5月の常用新規求人数（旭川、稚内、北見、網走）は、すべての地区で前年を上回り、全体でも前年を上回った（4地区合計前年同月比：+13.2%＜旭川地区+6.9%＞、2011/1～3月+10.2%＜同+12.7%＞）。5月の有効求人倍率（常用）は、全ての地区で前年を上回った。

5月の倒産件数は0件、負債総額は0億円となった（2011/1～3月中件数：21件＜前年同期比：+61.5%＞、同負債総額：33億円＜前年同期比：△2.0%＞）。倒産件数・金額が0となったのは、2004年8月以来である。

### Ⅲ. 金融動向

5月末の金融機関預金残高は、前年を上回った（表面預金残高前年比：+1.9%、前月比△1.1%）。

5月末の金融機関貸出残高は、前年を下回った（貸出残高前年比：△1.9%、前月比△1.8%）。

5月末の旭川市内金融機関の貸出約定平均金利（総合）は、低水準で推移した（1.955%、前月比：△0.006%ポイント）。

5月に日本銀行が管内で受入れた銀行券は150億円と前年（156億円）を6億円下回った。一方、払出した銀行券は90億円と前年（88億円）を2億円上回った。この結果、受超額は60億円となった（前年は68億円の受超）。6月の受入れは81億円（前年96億円）、払出しは121億円（前年126億円）となった結果、40億円の払超となった（前年は30億円の払超）。

以上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <http://www3.boj.or.jp/asahikawa/>

## 道北主要経済指標

P=速報値 r=修正値

	数量・金額 2011/5月 (合板は4月)	前年同期・月比 (%)				備 考 (資料出所等)		
		2010/10~12	2011/1~3	2011/4	2011/5			
漁業水揚	数量(千トン)	16	4.1	△51.0	△ 0.8	21.8	稚内・紋別・網走・枝幸港	
	金額(百万円)	1,105	55.4	△20.5	△12.2	△10.2		
生乳	出荷(トン)	88,109	△ 1.4	△ 0.2	△ 0.1	△ 1.5	ホクレン旭川・稚内・北見支所	
製材	生産(千m <sup>3</sup> )	P	r	P	P		上川・オホーツク総合振興局林務課	
		うち針葉樹	35	3.2	2.4	4.1		6.4
		広葉樹	33	4.1	3.2	4.9		6.3
	出荷(千m <sup>3</sup> )	P	r	P	P			
		うち針葉樹	36	4.8	2.4	△ 0.8		7.5
		広葉樹	34	5.3	3.5	0.8		9.0
在庫(千m <sup>3</sup> )	2	△ 10.8	△ 7.8	△ 6.6	7.5			
合板	生産(千m <sup>3</sup> )	36	4.8	2.4	△ 0.8	7.5		
	うち針葉樹	34	5.3	3.5	0.8	9.0		
	広葉樹	2	△ 2.2	△ 10.2	△ 18.4	△ 12.5		
合板	生産(千m <sup>3</sup> )	36	※1	r	※2	P	P	
	出荷(千m <sup>3</sup> )	4,386	△12.7	8.4	9.9	n.a.		
	在庫(千m <sup>3</sup> )	4,436	△12.0	14.5	8.9	n.a.		
建設	公共工事請負額(百万円)	21,301	△33.8	35.6	△12.1	63.1	北海道建設業信用保証(株)	
	うち上川	12,895	△35.6	5.2	△49.7	3.6倍		
	宗谷	2,175	△21.5	2.0倍	△ 2.6	△31.5		
	オホーツク	6,231	△36.1	55.9	56.4	△ 1.3		
	建設	確認申請床面積(千m <sup>2</sup> )	36	△16.8	22.9	11.6	16.1	旭川・稚内・網走・北見市
		うち居住用	26	△ 1.2	10.0	9.0	9.7	
非居住用		10	△47.7	36.8	15.3	36.4		
旭川市確認申請床面積(千m <sup>2</sup> )	21	△14.6	△ 5.5	△13.4	17.6	旭川市		
旭川市確認申請住宅戸数(戸)	168	△10.7	16.7	△ 7.1	41.2			
消費	大型店売上高(百万円)	4,564	△ 1.0	△ 3.4	△ 2.1	△ 4.1	日本銀行旭川事務所	
	新車登録台数(台)	1,747	△20.9	△23.0	△61.4	△41.6	自 販 連	
		うち乗用車	1,449	△23.7	△25.3	△62.9	△41.7	旭川・北見支部
空港旅客数(人)	118,900	△ 5.6	△15.4	△24.9	△23.1	旭川・稚内・女満別・紋別空港		
貨物	貨物輸送量(千トン)	412	△10.6	△ 5.8	r	△ 4.0	△2.5	日本銀行旭川事務所
電力	電力消費量(千KWH)	432,264	△ 0.3	0.3	△ 3.4	△ 4.2	北海道電力	

注1) 数量・金額の合計は四捨五入の関係上一致しないことがある。

注2) 道北：2010年4月以降より上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内(2010/3月以前は、旧上川、宗谷、網走支庁管内)。

※1 2010/12月末前年同月比。

※2 2011/3月末前年同月比。

	数量・金額 2011/5月	前年同期・月比 (%)				備 考 (資料出所等)		
		2010/10~12	2011/1~3	2011/4	2011/5			
雇 用	常用新規求人数 (人)	3,121	8.6	10.2	2.2	13.2	旭川・稚内・北見・網走公 共 職 業 安 定 所	
	旭川	1,709	13.4	12.7	1.1	6.9		
	稚内	207	△26.8	△ 1.5	21.0	38.0		
	北見・網走合計	1,205	9.7	9.4	△ 0.2	19.7		
倒 産	件数 (件)	0	△ 6.7	61.5	△12.5	※3 -	帝 国 デ ー タ バ ン ク 旭 川 ・ 北 見 支 店	
	金額 (百万円)	0	△66.2	△ 2.0	△13.2	-		
金 融	手形交換高(百万円)	54,091	△ 1.1	△ 4.0	△22.5	5.9	札 幌 銀 行 協 会 (道北7手形交換所分)	
	取引停止処分(枚)	1	2.3倍	3.0倍	※4 -	△66.7		
	管内店舗表面預金 (末残、億円)	35,028	※1 2.2	※2 2.2	2.5	1.9	日 本 銀 行 旭 川 事 務 所	
	管内店舗貸出金 (末残、億円)	14,592	0.2	△ 1.5	△ 0.9	△ 1.9		
	旭川市内銀行等貸出約定平均金利 (%)	総合	1.955	※5 1.967 (△0.026)	※6 1.945 (△0.015)	※7 0.016		※7 △0.006
		短期	1.648	1.596 (△0.046)	1.573 (△0.012)	0.041		0.034
		長期	2.053	2.098 (△0.014)	2.072 (△0.015)	△0.004		△0.015
	銀行券受入高(百万円)	14,991 2011/6月: 8,138	△ 3.0	△14.6	0.2	△ 4.0		
	払出高(百万円)	9,000 2011/6月: 12,115	11.4	0.7	△19.6	2.0		

- ※1 2010/12月末前年同月比。  
 ※2 2011/3月末前年同月比。  
 ※3 2011/5月の倒産件数および金額は0  
 ※4 2010/4月の取引停止処分枚数は0  
 ※5 2010/12月末金利水準、( )内は前月比増減(△)ポイント。  
 ※6 2011/3月末金利水準、( )内は前月比増減(△)ポイント。  
 ※7 前月比増減(△)ポイント。

○有効求人倍率(常用)

( )内は前年

年/月	旭 川		稚 内		北 見		網 走	
	倍	( )	倍	( )	倍	( )	倍	( )
2010/ 6	0.41	( 0.32 )	0.52	( 0.58 )	0.52	( 0.35 )	0.53	( 0.44 )
7	0.45	( 0.34 )	0.51	( 0.57 )	0.60	( 0.40 )	0.58	( 0.44 )
8	0.46	( 0.36 )	0.55	( 0.60 )	0.64	( 0.43 )	0.62	( 0.51 )
9	0.52	( 0.39 )	0.52	( 0.69 )	0.66	( 0.51 )	0.66	( 0.52 )
10	0.50	( 0.39 )	0.47	( 0.66 )	0.65	( 0.52 )	0.65	( 0.51 )
11	0.50	( 0.39 )	0.48	( 0.59 )	0.62	( 0.53 )	0.59	( 0.46 )
12	0.48	( 0.35 )	0.41	( 0.54 )	0.60	( 0.51 )	0.56	( 0.45 )
2011/ 1	0.49	( 0.38 )	0.51	( 0.49 )	0.64	( 0.55 )	0.60	( 0.43 )
2	0.51	( 0.41 )	0.61	( 0.57 )	0.64	( 0.59 )	0.62	( 0.43 )
3	0.53	( 0.42 )	0.53	( 0.56 )	0.64	( 0.57 )	0.63	( 0.50 )
4	0.47	( 0.39 )	0.48	( 0.44 )	0.54	( 0.48 )	0.55	( 0.51 )
5	0.48	( 0.38 )	0.50	( 0.44 )	0.54	( 0.49 )	0.58	( 0.52 )

公共職業安定所調べ